

月刊『カーサ ブルータス』
*Life Design Magazine
*特別号
Bilingual Issue

BRUTUS®

Casa

2

2002 vol.23
FEBRUARY

特別
定価 980 円

Looking for
New Japanese
Design

今、世界に
自慢したい
日本のプロダクト
デザイン100

116ページ別冊カタログ
付いてます



デザイン本来の使命を 思い出させるシンプルさ。

「見た目よりずっと座りやすい椅子。最大の強みはシンプルであること。本来は大量のためにあったはずのデザインという富みか贅沢な方向に行ってしまう現在の、安価なプロダクトを提供すること自体、大きなメリットになる。プロトタイプだからイタリアには持って帰れないのか残念。」 ▶ d

西堀 晋 松下電器産業に9年間インハウスデザイナーとして勤務。その間CDラジカセ(p-case)をデザイン。1999年独立、shin productsを設立。以後はカフェ「efish」のプロデュースやインテリア・家具デザインも。



椅子に服を着せたデザイナーは 優しい人に違いない。

「とても安定感があって座りやすい椅子だと思ったら、中身はブリアチェア。日本の伝統美を反映したカバーを外すと、最もイタリア的な椅子が出てくるのは驚き。椅子に服を着せるという発想がとても優しいし、デザインでこれほど機能がかわるとは！ 行き届いた「お仕事」の仕上がりにも脱帽。」 ▶ b

酒井俊彦 コーゾーデザインスタジオ勤務後、1992年サカイ デザイン アソシエーツ設立。コンピュータ周辺機器から家電、家具、インテリアまで幅広くデザイン。電子メディアのコンテンツ制作も手がける。



狙ったデザインよりも はるかに現代的な仕上がり。

「電話本来の最もシンプルなカタチ。受話器の置き場所がすぐ分かる点も機能的。ダイナミックなラインを無理に引いたり、無駄に丸みを持たせたりが皆無。モダンデザインを意図するより単純な造形に徹したほうが現代的に見えるという好例。CGではなく、手でデザインしたという感じがする。」 ▶ e

エレファントデザイン コンサルタント出身の西山浩平とプロダクトデザイナーの根本洋典の2名で1997年に設立。ウェブサイト「空想生活」を運営し、個人ユーザーのオーダーに基づいたプロダクト開発の手法を模索中。

日常品もカタチを変えるだけで こんなに可愛くなる。

「ティーバッグという日常品の商品も、ちょっとカタチを変えるだけでこんなに面白くなる。どう見ても操り人形だけど、実はこれ以上大きいとお湯の中で揺らせた時グロテスクに。その点、このプロトタイプは絶妙なサイズで、だからこそマンガチックな可愛い印象にとどまることができている。」 ▶ a

深澤直人 IDEO Japanディレクター。日常生活の中の無意識で些細な行為に強い興味を持つ。過去に40以上のデザイン賞を受賞。最近ではMUJIの壁掛けCDプレーヤーのデザイナーとしても注目されている。



「イタリア人にとって日本の伝統と新しいものを上手に組み合わせるデザイナー」といえば、やはりイサム・ノグチに話が廻ります。プロダクトであれ建築であれ、日本の伝統美はシンプルさにこそあると思うんです。しかもそれが内面化されているから、たとえ超近代的なデザインのプロダクトに見えても、その奥にはシンプルさが潜んでいる。これがヨーロッパだと現在は現在、過去は過去。その証拠にイタリアやイギリスでは新しい家具と古い家具が並んでいるのをよく見かけるけど、日本ではあまり見ません。わざわざそうしなくても、内面化された伝統が新しいデザインにも自由に表れるからなんです。マジストレッティやカステイリオーニがポストモダン家具をデザインした時に、代々伝わっている家具のディテールをモチーフにしてみせたのとは対照的ですね。」

では最後に、8つのプロトタイプを見て触っていただいた感想を。

「イタリアのファッション業界では『日本的』というのが褒め言葉。機能と美しさと使いやすさのバランスが取れているという意味で。プロダクトの分野でも希望が持てそうだった。プレゼンの甲斐あり！」

「カラフルで、デザイン的にも持った時にも、軽みを感じられるところがまた日本的。東京の街を歩いていると服装も髪の毛の色もバラバラな若い女性たちが目に奪われるけど、彼女たちが見せる軽みとエレガンスが、新しい日本のイメージといつてもいいでしょう。」

日本のファッションにも興味津々の編集長。自由なスタイルの中に超近代的な要素と伝統的な要素をうまくミックスしているところが気になるようです。ではまた話をプロダクトに戻しましょうか？

内面化された伝統美こそニッポンデザインの美点

Now On Sale!

100 Japanese Product Designs

| presentation |

b to_Castelli from_Toshihiko Sakai

Name	Plia's Suit
Description	Cover for Folding Chair
Material	Neoplane, Fastner, Urethane
Size	W500 × D540 × H760mm
Weight	4,000g
Contact	sakai@sakaidesign.com



働き者の椅子に服を着せてあげよう。
ジャンカルロ・ピレティがデザイン、
世界中で400万脚も売れた伊カステリ
社の折り畳み椅子〈プリア〉。華奢な
カラダが寒そうなので服をデザイン。
真ん中のジッパーで着脱可です。

How about some clothes for the hardworking
chair? The Plia chair, designed by Giancarlo
Piretti (over 4 million units sold) looks
skinny and a little underdressed, so Sakai
designed it an outfit. The zipper in the center
is for disrobing!